

行政区や小学校区を単位とした地域づくりのための「地域計画予習ノート」

市町村合併が一段落し、新市(町)の総合計画づくりが進められています。この際、合併のために作った新市(町)建設計画があるので、その考え方を踏襲していくことが基本になりますが、合併前の市町村を単位とした地区別計画をどのように立てるか、悩ましいところです。旧の市町村を単位に事業量のバランスとかに配慮していると、「あちらを立てればこちらが立たず、こちらを立てればあちらが立たず、両方立てれば財政がもたず」ということになります。合併の際に、美味しいことを結構言ってしまったことが仇になることもあるようです。一方、昔の行政境界は考えずに、もっと小さな地区を単位にした計画・コミュニティをしっかりとつづいた方がよいのではないかと、という考え方もあります。後者を前提に、地域住民が、自ら地域づくり計画を立案するための道具として、「地域計画予習ノート(A4判 4ページ)」を作りました。このノートで地区ごとに予習していただき、その成果を提出してもらえば、コンサルタントの方で地区の特性に合わせた計画の雛型をつくることができます。雛型作りをシステムティックに行う方法を開発しました。コンサルタントが、まず5パターン程度の地域づくり展開イメージを示し、それを基に各地区において議論を深めてもらいます。この議論の進め方もマニュアル化しました。ノートの項目に沿った情報が集まるので、行政としても情報把握がしやすくなります。また、よその地区の名案を応用することもしやすくなります。予習ノートの項目は、以下のとおりです。

1. 地区の人口と世帯数を数えてみましょう。
2. 地区の主な区役や行事を、1月から順番に列挙してみましょう。
3. 地区住民が共同でなしとげた立派なことを、時代(平成、昭和戦後、昭和戦前、明治大正、江戸、江戸より古い)ごとに整理してみましょう。
例) 開拓/用水路建設/学校の建設/公民館の建設/ほ場整備/災害復旧/
人命救助/大きな催し物/伝統芸能復活 など
この中で、今を生きる私たちが、最も大きな恩恵を受けているのは、どんなことですか?
4. 地区が生んだ大人物と功績を挙げてください。
5. 地区に伝わる、おもしろい話はありませんか? 昔話、言い伝え など。
6. この地域でよく食べるお祭料理、郷土料理を10品挙げてください。
7. 地区レッドデータブック!
近い将来、途絶えてなくなると危惧されるものを列挙してください。
例) メダカ/田の畦塗り技術/祭り/運動会/炭焼き/棚田/歴史的建物/古樹 など
8. 地区住民が普段何気なく使える技術、この地区の人なら当たり前という技術には、どんなものがありますか?
9. この地区で暮らす中での困りごと、心配ごとは、何ですか。
10. よその地区や町、あるいは外国のどこかのまちでやっていて、この地区でもやってみようと思うことを列挙してください。
例) 仮装マラソン大会/農家民泊/外国と姉妹集落/EM泥ダンゴ作戦/防犯パトロール
営農組織化/花いっぱい/ふれあいランチ配達/ペットのしつけ方教室 など